



2021年9月27日

各 位

会 社 名 あすか製薬ホールディングス株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 山口 隆
(コード番号 4886 東証第一部)
問い合わせ先 グループ経営企画部長 小林 秀昭
(TEL. 03-5484-8366)

婦人科疾患領域におけるrelugolix配合剤に関するライセンス契約合意について

当社子会社のあすか製薬株式会社(本社:東京都港区、以下「あすか製薬」)は、武田薬品工業株式会社(本社:東京都中央区、以下「武田薬品」)が保有する relugolix (一般名) 配合剤 (relugolix, estradiol(INN), norethindrone acetate(INN)、開発コード:TAK-385)に関し、日本における子宮筋腫の独占的開発権および独占的販売権を取得するライセンス契約(以下「本契約」)を締結しましたのでお知らせ致します。

relugolix は、武田薬品が創製したゴナドトロピン放出ホルモン (gonadotropin-releasing hormone : GnRH) 受容体拮抗薬です。あすか製薬は、既に relugolix 単剤の日本における子宮筋腫の独占的販売権および子宮内膜症の独占的開発・販売権を取得しており、2019年1月に子宮筋腫に基づく諸症状の改善(過多月経、下腹痛、腰痛、貧血)に対する治療薬として「レルミナ[®]錠 40mg」を発売しております。

本契約に基づき、あすか製薬は日本における子宮筋腫の独占的開発権および独占的販売権を取得する代わりに、武田薬品に対して売上に応じたロイヤルティを支払います。なお、本契約に関するその他の詳細については開示しておりません。

子宮筋腫は、過多月経、痛み、貧血などを伴う良性の腫瘍であり、不妊の原因にもなり得る疾患として知られています。30～40代に発症することが多く、日本では約200万人の女性が罹患していると言われています。あすか製薬は、産婦人科を重点領域の一つとして女性のための健康サポートを推進しており、relugolix 配合剤は、子宮筋腫治療の新たな選択肢を提案するものと考えております。

なお、本契約による2022年3月期の当社連結業績への影響は軽微です。

以 上